

平成29年2月15日

日本最大級の無動力陸閘ゲート群が完成

【関係者向け現地見学会を開催】

那賀川河川事務所では、今後30年以内に高い確率で発生が予測される南海トラフ巨大地震へ備えるため、那賀川、派川那賀川及び桑野川の河口部において、無堤箇所（無堤箇所）の築堤、堤防の低い箇所での嵩上げや基礎地盤の液状化対策を実施しています。平成29年3月までに那賀川の左右岸、派川那賀川及び桑野川の左岸が完成しており、現在、派川那賀川右岸及び桑野川右岸の対策を継続して実施中です。

その対策の一環として、津波や高潮の発生時に人の操作を必要とせず無動力で起立、防水する「カウンターウエイト式フラップ構造」の陸閘を派川那賀川右岸（豊益地区）に7基配置しています。

この度、7基のうち最大である幅20.0m×高3.0mの陸閘ゲートが完成し、全7基の配置が完了できたことから、下記のとおり、背後地の利用企業等に向けて現地見学会を開催しますのでご案内します。

記

- | | | |
|-----------|---|---|
| 1. 日 | 時 | 平成29年2月27日(月) 午後2時から
※小雨決行 |
| 2. 場 | 所 | 徳島県阿南市豊益町大手地先（別紙-1参照）
派川那賀川右岸公共用岸壁（河口から600m付近） |
| 3. 取材申し込み | ： | 取材を希望される方は、平成29年2月22日（水）
午後5時までに別添「報道機関申し込み用紙」を送付
してください。 |

本施策は、四国圏広域地方計画「No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取組に該当します

国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所 TEL 0884-22-6461

副所長（改修） 福島 奨 （内線204）

◎工務課長 清水 敦司 （内線311）

◎：主たる問い合わせ先

別 添

那賀川河川事務所 工務課 宛

FAX : 0884-22-7062

報道機関申し込み用紙

(無動力陸閘ゲート見学会)

以下の留意点を一読頂き、申し込みをお願いします。

1. 見学会にあたっては、王子製紙(株)富岡工場内を通行するため、参加者全員のお名前を登録する必要があります。下表の参加者欄が不足する場合は、適宜追加ください。
2. 配置場所が隣接する王子製紙(株)富岡工場であり、取材（写真等の撮影）にあたっては、一部制約があります。

報道機関名	
担当者名	
電話番号	
参加者	
参加者	
参加者	

【申し込み先】

国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所 工務課

FAX : 0884-22-7062

無動力陸閘ゲート構造の採用経緯

➤ ゲート設置箇所の課題

- ① 常時は、背後地にある工場の資材運搬路として開いている状態にあること。
- ② 津波来襲時や高潮発生時には、背後地の浸水被害を防止するため、確実に閉鎖できること。

➤ 構造選定における着目点

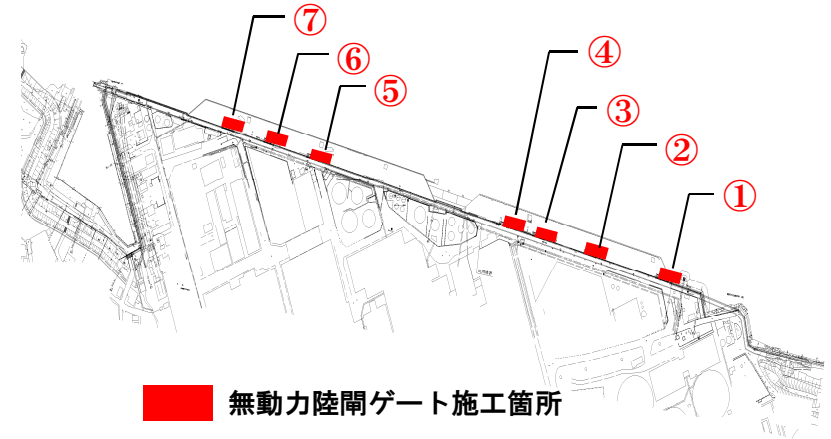
- ① ゲート操作時における操作員の安全確保。
- ② 遠隔化・自動化、無動力化を可能な限り採用。
- ③ 維持管理上への配慮及び操作性、耐久性への配慮。

- **当該区間のゲート構造は常時開いており、車両等の通行が可能で津波又は高潮時には電源等を使用せず、自動的に閉鎖できる構造(無動力)を採用しました。**

事業箇所、設備概要



派川那賀川の豊益地区に陸閘ゲートを7基設置



区分	ゲート規模	完成年月
① 1号陸閘	有効幅15.0m×有効高3.0m	平成28年5月
② 2号陸閘	有効幅15.0m×有効高3.0m	平成27年3月
③ 3号陸閘	有効幅15.0m×有効高3.0m	平成28年5月
④ 4号陸閘	有効幅20.0m×有効高3.0m	平成29年2月
⑤ 5号陸閘	有効幅15.0m×有効高3.0m	平成28年12月
⑥ 6号陸閘	有効幅12.0m×有効高3.0m	平成28年6月
⑦ 7号陸閘	有効幅15.0m×有効高3.0m	平成28年6月

□ 現場見学会開催箇所

施工状況写真

現地施工前状況



現地吊込み状況

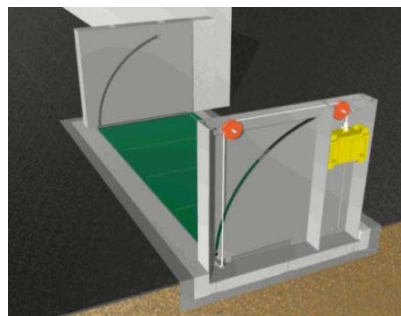


現地施工状況 (工事中)

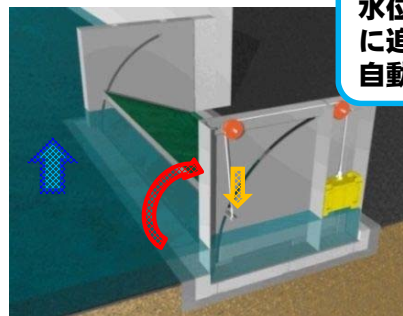


陸閘ゲート動作イメージ

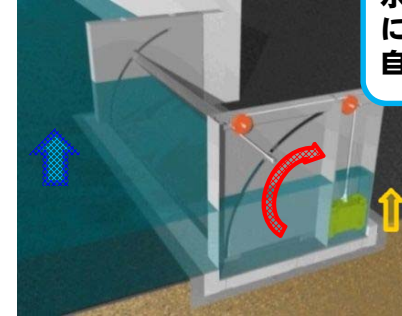
①全閉【全倒伏】



②起立中(初期)



③起立中(中間開度)



④全開【全起立】

